

第 50 回 (株) キッズステーション放送番組審議会議事録の報告
(令和 6 年 1 月開催)

放送法施行令第 8 条第 3 号イの規定に基づき、第 50 回放送番組に関する審議会が開催されました。その議事内容を下記にお知らせいたします。

開催年月日	2024 年（令和 6 年）1 月
開催場所	株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント 虎ノ門オフィス 2 階カンファレンスルーム + リモート
委員出席	7 名
出席委員の氏名	重村 一、内山 隆、樹林 ゆう子、高橋 望金子 ありさ 桶田 大介、森川 美穂（リモート参加）

議題 審議作品「見上げてみよう、ぼくらのウチュウ」第 1 話～第 4 話（各 13 分）について

宇宙を知ることで、あらためて地球の大切さや現代の環境問題をも考えるきっかけになるよう目指して制作したエデュテイメント番組です。子どもたちや博士といっしょにウチュウクイズにチャレンジするキッズステーション制作のオリジナル番組。

議事の概要

1. 本作品のご感想や番組内の表現やテーマなどでお気づきの点
2. 本作品のターゲット 6 歳以上の小学生をメインターゲットに設定しております。第 1 話をご覧になられてそのようにお感じになりましたでしょうか。
3. 番組をご覧になって子供たちが「宇宙」に興味を持ち、地球環境を考えるきっかけとなるエデュテイメント（教育・娯楽）番組であるとお感じになりましたでしょうか。

本作品のご感想、表現やテーマ等でお気づきの点等

- 寸分の隙もなく素敵な教育番組でした。
- 大人が見て面白くて見やすい。基本を押さえてくれる。
- この番組は毒がないので、子どもが食いつくかといわれると…

- 深遠な気持ちに包まれたりするところをもう少し掘り下げて、寄り添ってくれると子供たちとシンクロする感情移入や親和性が生まれ、子供たちも面白がると思った。
- 親として子供に見てもらいたい番組だと思う。
- ただ子供は大人が学んでほしいと思い提示したものに対しての食いつきは良くない。
- 子どもたちの食いつきでいうとダークな部分やもっと掘り下げる部分があっても面白い。
- 興味をどこに持たせるのか、大人目線というのも大事ですが、興味を持たせるポイントはどこか。
- すごくいい番組ですが、物足らない部分が少し残念でした。
- ウーチューバーという設定が全く生きていない気がした。
- 情報過多の今の時代にこの番組で、子供たちが宇宙に興味を持ってくれるかというと少し弱いのではないかと思う。
- 番組としてはよくできているが、最後の告知で流れている『STAR SPHERE』のイベントとの連動がうまくできているのかが気になった。
- 子どもが憧れる職業としてのYouTuberの想起でウーチューバーですが、Youtubeではそれは流しておらずキッズステーションでやっているというのが諧謔なのかどうなのか。
- タイアッププロジェクトとして「この予算でこのスケジュールの範囲でこの枷の中でやって」というようなものだったのだろうからフラットな普通の番組制作とは同じような文脈で評価をするのはフェアではない気がしていて、すごくものが言いづらい番組だと思う。
- 「親が安心する、子供に見てほしい親のための番組」になっている気がした。
- もう少し漫画チックな要素があっても良かった。
- 『生物が住める可能性がある星』『宇宙人』などの漫画チックなわくわく感があれば良かった。
- 番組のキャラクターたちに子供らしさ、漫画らしさがあるともっと面白いことができる。
- 科学などもサイエンスクラブなど教育ツールが今はたくさんあるので、あえてこの番組を見る訴求ポイントがあるとよい。
- 宇宙ものが大好きな身としては結構ツッコミどころ満載だった。
- 地球と月と太陽の大きさをバルーンとマッチ棒と球で比較していた時、低予算感が出てしまい、またマッチ棒を固定していたスタンドが傷だらけの古いスタンドだったこともあり、夢がなくなった。
- 光の色でピンクが出ないというのは、三原色のレッドとブルーの中間色がピンクなのに、本当か？と思った。
- 水がある惑星で地球といいたいと思うのですが、天王星、海王星にもあった気がする。
- 間違えた知識を子供たちに与えるのは良くないと思うので、裏支え（エビデンス）が欲しかった。

- 子どもたちに向けてなのでより正確に、最先端の（宇宙に関する）お話を持ってきた方が良いのかと思った。
- 自分の忘れていたことを思い出させてくれ、面白いところがあった。
- 日本の教育番組は海外の『セサミストリート』や『ディズニー』の子供向けチャンネルなどと比べるとお金のかけ方が違うというのもありますが相当遅れている。
- 無難な番組ではあるが、子供を惹きつける要素を工夫しなければならない。
- 日本の子供向け番組で、海外に出せる作品が思いつかない。
- 地上波では幼児教育物の作品は無くなりつつあり、そこで評判になるような作品を作ればキッズステーションそのものの存在意義は出せるのではないかと思う。

ご意見を参考にした今後の対応

今回の審議会に出された委員からのご意見については、番組制作者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な設置を講じるよう努めて参ります。

以上